

2016年2月21日 小網代フリートレース(KFR)落水事故報告書

2016年2月21日

[事故内容]

小網代フリートレース(KFR)に参加時、復路で4名落水。
人員、艇体共に無事、ケガもなし。

[発生日時]

落水時刻 2016年2月21日 11:50頃
救助完了 同 11:58

[海象]

天気快晴 気温 9~10℃ 水温 15℃ 東南東 17~18knots 波高 1~2m

[発生場所]

黒埼の鼻の西沖 1.4M 付近



[乗員] 10名

スキッパー

ボースン

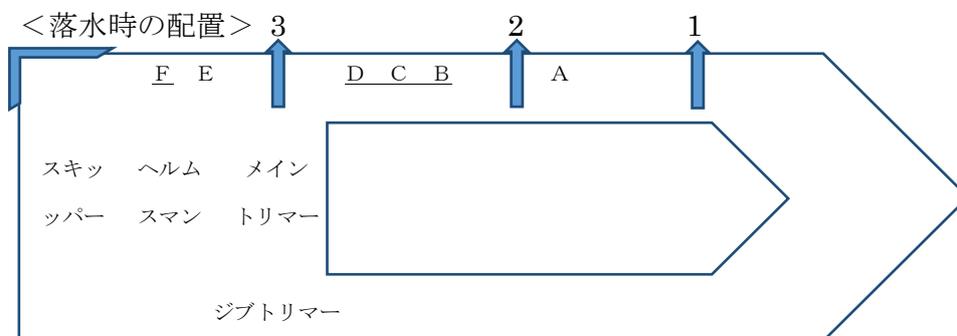
クルー8名

[事故発生直前の状況]

KFR B コースのコース短縮により K マークを反時計回りで回航後、ポートタックのクローズリーチ〜アビームで相模網代崎沖灯浮標を目指して走っていた。正確なヒール角は不明だが、 10° 程度ついていた。ヒールを潰すためフルハイクアウトの体制をとっていた。

[事故発生時の状況]

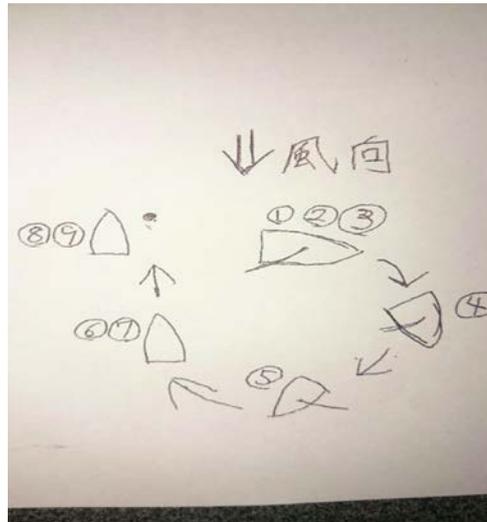
左舷のスタンパルピットと下段のライフラインを繋ぐラニヤードが千切れ、ハイクアウトを行っていたクルーA、B、C、D、E、Fのうち、AとEを除く4名が落水。B、Fは艇後方に流され、C、Dはライフジャケットにライフラインが引っ掛かる形で引きずられる状態。Eは第3スタンションと上段のライフラインを掴んで落ちずにいた。



クルーFとEは第3スタンションとスタンパルピットの間、
クルーB、C、Dは第3スタンションと第2スタンションの間、
クルーAは第2スタンションと第1スタンションの間で
Eを除く全員がフルハイクアウトを行っていた。

[落水から救助までの流れ]

- ① 左舷落水 ②エンジン on ③クルーC、Dを先に救助 ④レース参加中の後続艇がクルーBの救助に向かうのを確認し、クルーFの救助に向かう
- ④スロットルを on にし、ベア ⑤ジャイブコールをしてジャイブ ⑥クルーFの風下までスタボータックでアプローチ ⑦風下からラフして上に立てる。この時、スロットル off ⑧メイントリマーが右舷側のバウでボートフックを使い、クルーFに掴ませる。⑨トランザムまで移動させヘルムスマンとメイントリマーが引き揚げる



クルーD、Cがライフラインに引っ掛かっていてバウ側から波を被り、顔も海水につかっている状態で、このままだと危険と判断し先に救助。クルーDを左舷のスタンパルピットと第3スタンスションの間からヘルムスマンとジブトリマーが引き揚げ、クルーCを左舷の第3スタンスションと第2スタンスションの間からメイントリマーとクルーAとEで引き揚げた。その間、舵はスキッパーが持ち、エンジンを始動。右舷側でクルーBとFのワッチも同時に行っていた。クルーC、Dの救助後、後続艇からクルーBを救助する声が届き、合図を送った後、クルーFの救助に向かった。

[救助後]

救助後、メインとエンジンで 12:40 に小網代に入港。クルーが付き添い、落水者はシャワーで体を温めた。その間、スキッパーとボースンは状況を振り返りメモを作成した。

[事故の直接原因]

- ・ ライフラインとスタンパルピットを繋ぐラニヤードの破損



写真のラニヤードは去年の 8 月に行った船の整備の際に張り替えた。張替の際、ラニヤードの巻が足りなかったことが、切れた原因と思われる。また紫外線避け用のテープを巻いていたため、巻具合が直接見えない状態であった。

以上、状況および経過報告です。